

結核病棟退院指導の一例

中7階病棟 発表者 古畑 とり子・坂口 はつ子

I はじめに

かつては患者の隔離に重きをおいていた結核も現在は積極的治療の進歩により殆んどの人が軽快退院出来るようになった。しかし退院の喜びも束の間再発悪化のため再入院となる症例も決して少なくありません。又恵まれた医療の中で入院生活も最期にわたるため、退院後の生活に対する不安感の訴えが多く、個々に適した指導の必要を痛感致し、ここに一例を発表いたします。

II 患者紹介

姓 名 A. N 男性 68才 職業 農業

病 名 肺結核 境界型糖尿病

入院期間 S 45. 9. 29～現在

既往歴 昭和2年、甲状腺の手術 昭和32年 右滲出性胸膜炎

家族歴 父 70才 脳出血にて死亡 母 80才 胃癌にて死亡 同胞5人 健在
子供5人 三男29才で心筋硬塞にて死亡 他健在

家庭環境 留守宅には妻と長男夫婦その子供8才、5才同居、本人退院後の生活のために離れが増築されている。

性 格 小学校長の経歴をもち生真面目であり神経質な性格である。

経 過

S 37年2月感冒に罹患し3月肺結核と診断され右上肺野に空洞がありガフキ-2号のため入院。INH PAS の投与を受けたが時々排菌をみ同年12月胸郭成形術を受けた。

S 38年9月退院後INH EB の投与を受ける。S 45年2月よりガフキ-2号になりツベレックス追加投与、同年9月上旬より夜間痰がからみ大きな咳嗽するようになった。9月18日多刻やゝ多量の血痰あり9月29日入院となる。ガフキ-0～1号 KM INH EB RFP 投与。S 46年9月の血糖検査の結果境界型糖尿病として1900カロリーの食事療法を現在まで続けている。

S 48年2月ガフキ-0～1号 KMをTuM-N に変更投与する。

S 48年7月、ガフキ-2号胸部レ線所見で右中肺野に空洞消失後の陰影を認めその周囲に浸潤巣がみられるが大部分は胸郭成形術のためはっきりしない。

S 49年3月TuM-N EB耐性のため中止しINH RFPの投与を行う。

S 49年8月ガフキ-1号以後現在まで0が続いているが培養では2～3ヶ月に1回(+)となる。RFP 耐性のためEBに変更、此の時点の胸部レ線は右上中葉間に淡い浸潤影を認めその中に小さな空洞が1クみられるが胸郭成形術のため明確でない。

S、50年2月初旬インフルエンザに罹患し中等度の咯血を2回みる。此の前後の胸部レ線には著変を認めず喀痰検査の結果TB菌は(-)ヘモフィルスパラインフルエンザ菌、多量に検出された。抗生剤、止血剤の投与により軽快する。今回の咯血は二次的な気管支拡張症に感染が加わったものと推察された。

S、50年3月6日からEB耐性のためINH単独療法となる。視力障害を訴えるが老人性白内障のためEBによる影響はみられていない。KM VMが使用可能であるが聴力障害を認めるためINH単独療法となる。

III 指導の実際

昨年末より主治医から問題微量排菌があるが一般状態良好であるのでほつほつ自宅療養可能であるとの話があった。散歩して体をらしをしていた矢先突然の咯血ですっかり自信をなくした。最近になって再び退院の許しが出る。咯血は結核の悪化によるものでなく、インフルエンザの影響によるものと考えられ外来治療で充分である旨を話し合った。本人も散歩を15分位しても疲れが残らず食物も美味しく睡眠も良好で体調が大変よいと云い乍らもすぐそのあとから不安で仕方がないと繰返し訴える。そこで一日も早く精神面での指導をこころみ家庭生活のしほりを作製して、読んで参考にしてもらい様にする。

A しほりを作製するについて

1. 問題点

- ① 性格として非常に神経質で潔癖なところがあり完全治療を希望し又排菌のために周囲に迷惑のかゝることを極度におそれている。
- ② 再入院で長期の入院生活である。(第1回目1年6ヶ月、第2回目5年)
- ③ 培養2~3ヶ月後ではあるが陽性である。
- ④ 咳嗽出る度咯血するかも知れないと不安に思っている。
- ⑤ 軽症ではあるが糖尿病のため1900カロリーの制限食である。

以上の問題点について、わかり易く、しほりの中におりこむことにした。

2. しほりの実際

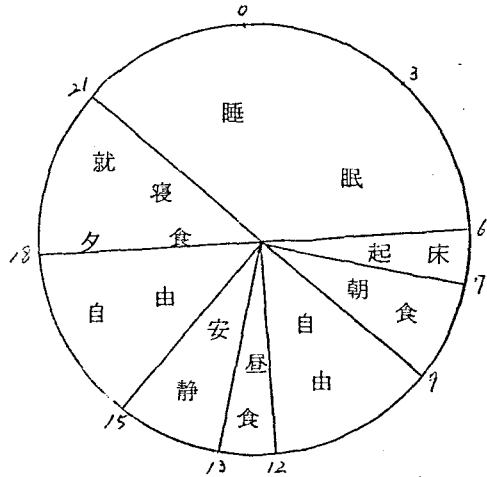
「Nさんやっと退院のお許しが出来ましたね、いろいろの事がありました辛抱して頑張った甲斐がありよかったですね、特に奥さんは大変だった事と思いますが喜びも大きい事とお察し致します。病院生活が長びいたため家に帰られてからの不安が大きいことは当然の事とお気持はよくわかりますが先生からお許しも出たことですし出来るだけ早く心構えが出来て家に帰れますようしほり」をつくってみました。何回かのお話合いと重複しているところもありますがお読みいただいで少しでもお役に立ていただければと願っております。」

◎安静度と日課について

安静度は5度程度です(安静度表をお渡し致しますが今の入院生活の延長です)安静度は勝手に変更することはいけません。5度の日課は円グラフにしました。内容について記入してみました。

- 食事、洗面、用便は自分でする。
- 面会は1時間半以内 Nさんの場合
退院直後は特に面会の方が多いのでは
ないかと思われませんが、どうぞ過労
になりませんように時間を守って
下さい。病院の延長生活ですので準
じた生活方法を工夫なさって下さい。
- 入浴は週2回短時間とし、少しでも
体調悪い時はやめましょう。清拭方
法について話す。
- 外来受診は月2回 M先生は火曜日、
受付10時30分迄です。
- 自由時間には身のまわりの整理、談話、手
話、手紙を書く、ラジオ、テレビ、読
書、入浴、屋外散歩、庭の草とり、
等少しずつよいでしょう。

日 課 表



散歩……についてですが、出来るだけ朝夕にし、直射日光の強い時はさけましょう。又は帽子をかぶるなどして下さい。そして少しずつ社会になれるよう人や車になれることも大切でしょう。病院へは毎日通院するわけでありませんから、家との距離を考え過ぎて負担に思われることはありません。車で15～20分ですものね。又足ならしを気にして散歩が過ぎないよう気をつけて下さい。なんでも順々にやってほしいのです。

- 安静時間…… 何もしないで静かに寝ている。何時もお話していますようにベッドに横になってさえいればよいのではなく精神面での安静も大事です。Nさんは特にいろいろ気を病む方ですからこの点を強調したいと思います。
 - 食事については2200カロリー前後の食事をしていますがNさんはS、46年以來1900カロリーで量的にも足りてるようですので特に問題ありませんが一応献立例を挿入しておきます。参考にして食事を作ってください。注意として糖尿病の場合含水炭素を少なめに良質の蛋白質野菜を多くとありますが結核はバランスのとれた栄養が治療上大事なポイントになってますから食べ過ぎはないと思いますが病院給食でなれている目安より減食することのないようなさって下さい。
 - 培養(+)のことは気苦労とは思いますが別室での生活ですからあまり問題になることはないと思います。
- ※面会の方との話し合いにはマスクをつける。あまり接近しない。特に小さい子供さんには気をつけましょう。

※身のまわり品は度々日光消毒しましょう。直接日光で夏2～3時間、冬8時間ぐらいで消

毒されると云われています。家で簡単に出来る煮沸消毒は100℃で5分以上 3~5% クレゾール液に2時間以上浸す、70% 消毒用アルコールで拭く。手洗は石鹼を泡立てよく洗い流す。

- 痰は殆んど出ませんが出たらちり紙にとり焼き捨てるのが安全です。外来受診時は必ず検査をしていただきます(検査の前日抗結核剤止める)
- Nさんは少し咳が出ると咯血を心配してますが咯血=悪化とは云いきれませんし病巣の出来かたによってもやすい人があるわけであり神経質にならないで下さい。心配したり大きな咳を試みたりすることこそ安静を妨げ悪い結果を招きます。いがらっぽかったらうがいをしてのどをうるおす。マスクをかける。先生にお願いして薬をいただく等なさして下さい。若し咯血の場合は右を下にし静かに休み胸を冷やして安静にしており近くのH先生に診ていただいで下さい。
- 現在服用中の結核剤はINH ですが副作用は比較的少なく、たまに神経炎、胃腸障害等ありますが何か体に変りあったら何でもお話し下さい。忘れずに服用して下さい。

以上いろいろと述べて参りましたが読んでいただいて少しはお役に立てたでしょうか。何か疑問がありましたらおきかせ下さい。どうぞあせらないで健康生活に少しでも近づけるよう頑張ってください。

IV おわりに

Nさんの場合家庭環境もよく経済的な面での心配もなく長期入院の患者としては恵まれた例ではありますが微量問題排菌がみられ性格的に生真面目であるためほつほつ退院準備ですねと話しかけてもまだまだ自信なくてと云ってたが何回か話合いをもち、しおりを渡した結果大分不安もうすぎこんなに先生や看護婦さんから元気づけてもらって嬉しいと涙さえ浮かべ大分不作で迷惑かけた妻に少しらしくさせてのんびり二人で過せるように頑張りたいと心境も話されるようになり一応の効果はあったと思います。

今後もこの経験を生かし退院者にもれなく充分な指導が出来るように努力したいと思います。

献立表

調理名		品名	数量(g)	調理名	品名	数量(g)		
朝食	御飯	飯	270	食パン 牛乳	ぶどうパン 牛乳	1袋 2本 1本 200		
	味噌汁	{キャベツ	40		野菜いため	{キャベツ	80	
		{味噌	20			{人参	10	
	いり卵	{卵 1ケ	60			{もやし	40	
		{人参	10			{ピーマン	10	
		{干しいたけ	2			{油	5	
		{グリーンピース	3			{塩	1	
		{油	2			半じょうく卵	{卵塩	1ケ 60
	{塩	1	{塩				1	
	食	松ばだら 和え	{胡瓜			40		
{松ばだら			5					
牛乳	牛乳	200						
昼食	御焼レモン	飯魚 レモン	270 1/2切 40 10	すきやき風	{とり肉	30		
	和え物	{もやし	40		{焼き豆腐	40		
		{胡瓜	20		{つきこん	30		
		{えのき茸	10		{玉ねぎ	70		
		{しょう油	5		{えのき茸	10		
		{しょう油	5		{しょう油	10		
	いちご	{いちご	40		{砂糖	5		
		{砂糖	5		もり合せ	レタス	15	
			トマト			50		
			グリーンアスパラ			20		
		胡瓜	20					
		りんご 1/2	100					
夕食	御飯	飯	270	バター焼	魚(牛さけ) バター	1/2切 40 5 1		
	蒸シウマイ	{とり挽肉	50		おしたし	{小松菜	70	
		{玉ねぎ	10			{削節	1	
	千切キャベツ	{片くり粉	5			{しょう油	10	
		{ワン皮	3枚 15			漬物	野沢菜漬	30
		{キャベツ	40				牛乳	牛乳
	{スパゲティ	15						
	{スパゲティ	15						
	サラダ	{胡瓜	20					
		{ハム	10					
夏ミカン ほうれん草 ソテー	{マヨネーズ	5						
	{夏ミカン	中 1/6 50						
	{ほうれん草	60						
	{バター	3						
牛乳	牛乳	1本 200						